



こんにちは日本共産党です

ハ千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第375号

2018年7月30日

発行

日本共産党

ハ千代市議会議員団

ハ千代市大和田新田

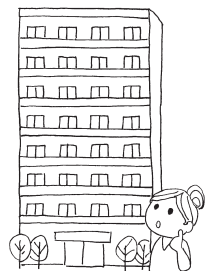
312-5

ハ千代台小学校の西小学校への統合はあるのか

服部市長は、6月定例議会で議員の質問に「ハ千代台小学校の西小学校への統合について、検討するよう教育委員会に要請している」と答弁しました。

市長は、昨年の市長選挙の際、ハ千代台地域の活性化を進めるとして、京成ハ千代台駅の高架化とともに、西口再開発を公約に掲げました。

再開発の目玉として打ち出されたのが、ハ千代台小学校を西小学校に統合する計画です。その跡地を更地にして民間に売却し、そこに大型マンションを建て、活性化につなげるというものです。



市は公共施設をどうしようとしているのか

ハ千代市 の公共施設等総合管理計画では、計画期間である36年間に必要な将来費用のうち約6割を占める公共建築物について、国からの援助が当てにできないなか、不足額を解消するために、施設の廃止・統廃合によって削減しようとしています。この具体化（アクションプラン）の中で、身近な公共施設が縮小・廃止されています。

さらに、総合管理計画で掲げた公共施設等の保有・管理量に関する方針では、特に、公共建築物の約63%を占める学校教育系施設の小・中学校についても、この方針を踏まえ統廃合に向け検討していくとしています。

学校は地域コミュニティの核

ハ千代市はこれまで7つの圏域を設定し、公共施設を整備する最小の単位として進めてきました。しかし、地域コミュニティは自治会・町内会などのまとまりの中、小学校単位で進められているのが実態であり、ハ千代市には小学校22校が存在しています。

近年、地震・台風・豪雨など自然災害が頻繁に発生しています。市町村合併による広域化の中で、一層地域の実態が見えにくくなり、自治体による支援体制に重大な支障が生まれています。

ハ千代市でも災害が発生した場合、高齢者や障がい者など要災害援護者へのスピーディーな対応により、人命を含めた災害を最小限にとどめることが求められています。小学校を核としたコミュニティこそ、その役割を發揮できるのです。

地域の衰退・荒廃を招くような安易な小学校の統廃合は、絶対に容認できません。

子どもたちの健やかな成長こそ地域の宝

政治の都合や活性化の名の下で、小学校の公共用地を民間に売却すべきではありません。子どもたちの健やかな成長にこそ地域の活性化が図られます。

日本共産党は、服部市長が進めようとしているハ千代台地区の小学校統廃合は認めることはできません。